

【清須市】
校務DX計画

清須市は「GIGAスクール構想下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果を踏まえつつ、校務DXを推進する際に障害となる課題を明確にし、以下のとおり解決に向けて取り組めます。

■ クラウドツールの活用

本市では、GIGAスクール構想の推進に伴い、令和3年度からMicrosoft 365を活用しています。各学校においては、教員間での情報共有はもちろんのこと、保護者へのアンケートや日程調整にも活用しています。

また、令和6年度からは保護者用の連絡アプリを導入し、保護者からの欠席連絡や学校からの文書配信が行える環境を整備しました。さらに、中学校においては自動採点システムを導入したことで、採点に係る業務時間が大幅に圧縮でききるようになりました。

ただし、上記のような各種クラウドツールを導入しているものの、学校間で活用の差が見受けられます。清須市ICT推進委員会（年3回開催）などを通じて、学校の好事例が広がり、校務が効率化できるよう支援していきます。

■ FAXでのやりとり・押印の見直し

本市では、統合型校務支援システムを導入しており、学校間や教員間の連絡や文書データの授受などに活用しています。また、校務系ネットワーク内に共有フォルダを構築しており、学校間や教員間の文書データ授受に活用しています。

しかしながら、本市では教員に個人メールアドレスを付与していないため、やむを得ず外部との連絡にFAXを使用しなければならない状況です。

【参考】GIGAスクール構想下での校務DX化チェックリスト 問30
業務にFAXを使用していますか：使用している100%

押印については、学校と教育委員会間において、機微な情報を含む文書等への押印を求めています。

また、学校と保護者間においても、押印が必要な書類が少ない現状があります。

【参考】GIGAスクール構想下での校務DX化チェックリスト 問31
保護者・外部のやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか：ある83.3%

災害時や学校教育ネットワークの不具合時など、FAXの方が効率的な場合を除き、FAXの原則廃止に向けて関係機関や事業者などに対し、慣行見直しの依頼等を働きかけていきます。

また、教育委員会内で押印を求めている業務や書類の有無の見直しの可否、見直しができない場合の理由についての現状把握を行い、機微な情報を取り扱う場合を除き、公印省略で取り扱うなど押印ルールの見直しを図ってまいります。

■ 校務系ネットワークの再構築及び校務支援システムのクラウド化

本市の校務系ネットワークは児童生徒の個人情報を取り扱う「校務内部系」、メールの送受信やホームページの編集等インターネットに接続して業務を行う「校務外部系」、児童生徒が教育活動で使用する「学習系」の3つに分離しています。そのため、文部科学省が推奨する“ゼロトラスト”のようなネットワーク構成にはほど遠く、アクセス制御によるセキュリティ対策などを検討していく必要があります。

また、統合型校務支援システムを導入しており、教務系（成績処理、出欠管理等）、保健系（健康診断票等）、学籍系（指導要録等）など幅広い業務で利用していますが、本市が契約している回線事業者のデータセンター内サーバに格納（ハウジング）されているため、自宅や出張先での校務処理ができないなどの課題があります。

現在、本市が運用しているネットワークや校務系端末は令和9年8月末までの契約期間となっています。文部科学省が推奨する“ゼロトラスト”の考え方に基づくネットワーク環境を構築するため、令和7年度からネットワーク再構築に係る基本計画を策定します。その後、令和8年度中に実施設計業務を実施し、ネットワーク再構築及び機器更新に係る調達業務を行うこととしています。

※ネットワーク更新の中で教職員へのメールアドレス配付等にも対応予定です。

また、現行の統合型校務支援システムにつきましても、令和9年8月末までの運用を予定しております。統合型校務支援システムの更新に向けてはクラウド化を念頭に検討を進め、職員室にとらわれない働き方を実現し、校務の効率化やペーパーレスを進めます。